

### 3. 郷土につくした人 『渡邊 閑哉』



渡邊閑哉



閑哉の生まれた家（下長折）

- ・江戸時代の終わりころに、下長折村の名主(村長)渡邊章の四番目の子どもとして生まれた。
- ・小さいころから学問が好きで、仙台藩の大屋士由に学問を学ぶ。
- ・19歳の時、布沢村の名主(村長)をまかされ、まずしい村を3、4年で立て直した。



閑哉の使ったといわれている井戸（下長折）